

プラットフォーム接続機器の紹介と今後の展開

佐藤 秀幸 (さとう ひでゆき) 株式会社マルゼン 研究開発センター 係長

要約 2020年のHACCPに沿った衛生管理の制度化や人手不足などの社会問題に対し、「業務用厨房機器IoT構築ワークグループ」における取り組みである、「厨房機器共通IoTプラットフォーム」を運用するにあたり、マルゼンとして本プラットフォームとの接続が可能な機器を紹介するとともに、弊社として今後も接続可能機器を拡大し、マーケットプレイス側とも協力し、予防保全を踏まえたシステムを開発する。

1. はじめに

株式会社マルゼンは1961年の設立以来、ホテル・レストラン等の外食産業はもちろん、学校・病院・福祉施設・給食等の集団給食、スーパーマーケット・コンビニエンスストア等の中食産業に至るまで、フードサービス産業全般をささえる業務用厨房機器の総合メーカーとして、多様化を続ける日本の食文化の発展に寄与してまいりました。企業理念である「顧客第一主義」を貫き、設計・施工・納品・アフターサービスまでの一貫した自社体制をワンストップでご提供し、万全の体制でサポートします。

弊社として、社会全体に大きな影響をもたらしつつあるIoT（モノのインターネット）に対し、IoT事業関連の一環として、今回の「業務用厨房機器IoT構築ワークグループ」での取り組みである、「厨房機器共通IoTプラットフォーム」に向けて、協力各社とともに総合厨房メーカーとして、HACCPの制度化および人手不足などの社会問題への対策に一翼を担って参ります。

2. 接続機器の紹介

2.1 スチームコンベクションオープン

弊社スチームコンベクションオープン（名称：スーパーsteam）は、1992年7月に電気式の発売をき

かけとして、機種構成の追加やモデルチェンジ、及びガス式やコンパクト・エクセレントタイプなどの多彩なシリーズを追加してきた。今回、電気式・ガス式を含めた全シリーズに対し、外形寸法から機種構成に至るまで一新するとともに、様々な新機能を搭載してフルモデルチェンジを行い、2019年4月に新タイプとして発売した。

このフルモデルチェンジに合わせて、新タイプでは小型から大型、またシンプルからエクセレントと分類される全シリーズに至るすべての機種（表1）がプラットフォームとの接続を可能としている。



SSCX-10D
エクセレントタイプ（10段）